

# 陳 情 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	2 7 1 1	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 24 日
件 名	洛西地域における中核病院の婦人科の存続等		
要 旨	<p>日頃は、京都市民の命と暮らし、なりわいを守るために御尽力されていることに敬意を表する。</p> <p>洛西地域の医療のとりでである洛西ニュータウン病院の婦人科が2022年3月末に閉科する。しかし、いまだに職員や地域住民に丁寧な説明はなく、当該の労働組合が婦人科の閉科に反対する署名約900筆を集め、当該法人に提出している。この突然の婦人科閉科の案内に職員や地域住民は困惑している。</p> <p>洛西ニュータウン病院は、関西医科大学と京都市との協定に基づいて、昭和57年に関西医科大学の附属病院として開設された。その後、シミズ病院グループに経営が移ったが、洛西地域の中核病院として30数年にわたり、洛西地域の住民に対して医療を提供してきた。洛西ニュータウン病院開設の経過から見ても、婦人科が閉科するという事態に対して、京都市の果たす役割は重要である。</p> <p>洛西地域に婦人科を標ぼうする医療機関は僅かであり、閉科に伴い、遠方の医療機関への受診が必要となる。交通事情による時間的な負担や金銭的な負担を強いられることとなり、受診控えによる手遅れ事例が発生する可能性がある。</p> <p>医療資源の確保をはじめ、洛西地域住民の命と暮らしを守るために、京都市として責任を果たす施策を実施するよう以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 京都市の責任で、洛西地域の中核病院の婦人科閉科を回避する努力を行うこと。</li> <li>2 最初の大規模計画住宅団地として開発を進めてきた京都市の責任として、洛西地域で子供から高齢者まで安心して住み続けられるまちづくりを進めること。</li> </ol>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		